

令和6年度 第2回 滋賀県渋滞対策協議会

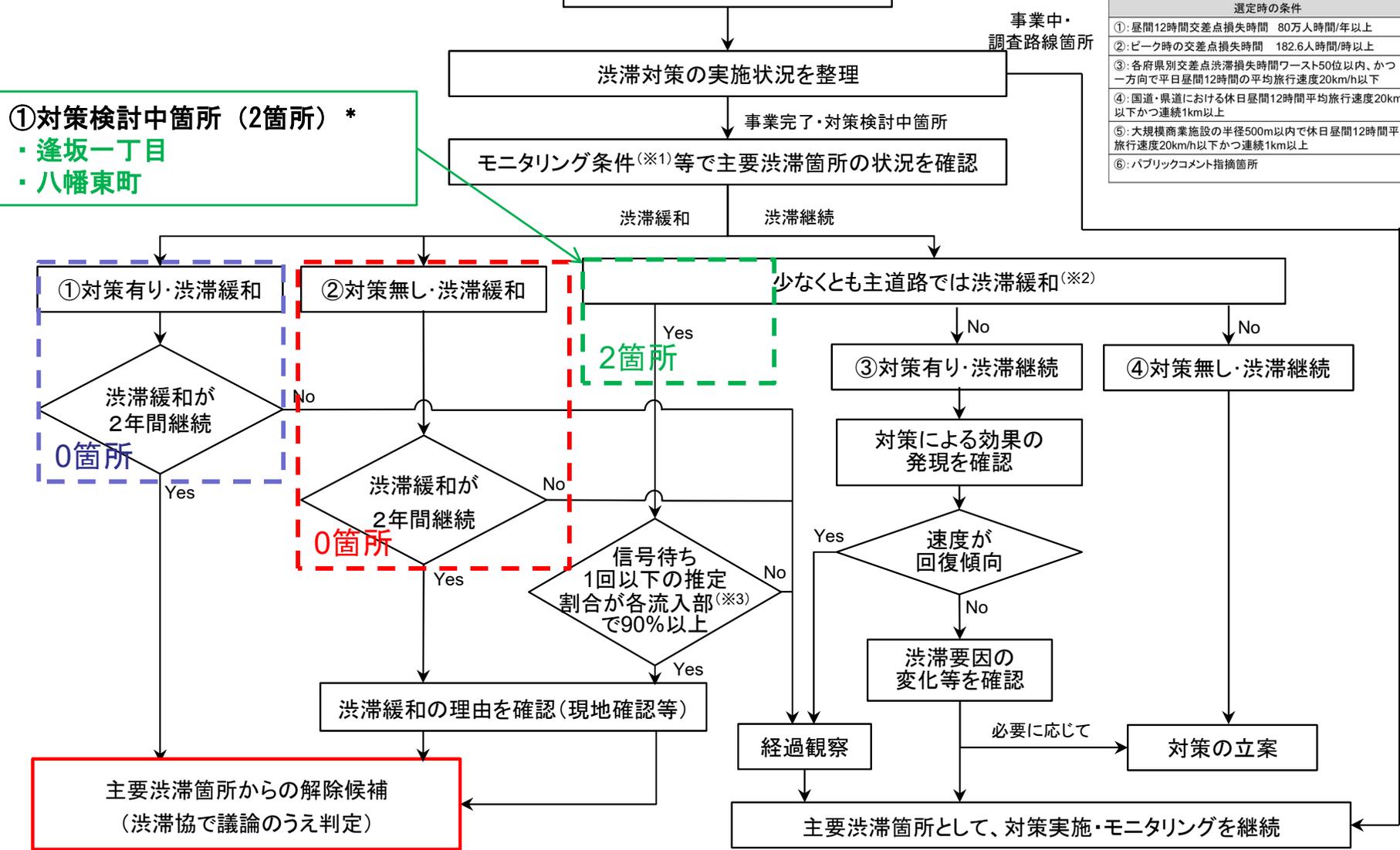
主要渋滞箇所における特定解除について

令和7年3月14日(金)

1. 今年度の特定解除候補箇所について

○特定解除フローに基づき、主要渋滞箇所の特定解除を検討する。
 ○今年度第1回渋滞協にて、直近の旅行速度データ(R5.9-11)に基づき、少なくとも主道路で渋滞緩和の見られる箇所として計2箇所を抽出した。

■主要渋滞箇所の特定解除フロー



①対策検討中箇所 (2箇所) *
 ・逢坂一丁目
 ・八幡東町

(※1)
 主要渋滞箇所の選定条件をもとに、旅行速度のモニタリング条件を定める。

選定時の条件	箇所数	モニタリング条件
①: 昼間12時間交差点損失時間 80万人時間/年以上	0か所	-
②: ピーク時の交差点損失時間 182.6人時間/時以上	3か所	平日ピーク時間で20km/h以上
③: 各府県別交差点渋滞損失時間ワースト50位以内、かつ一方が平日昼間12時間の平均旅行速度20km/h以下	35か所	平日昼間12時間で20km/h以上
④: 国道・県道における休日昼間12時間平均旅行速度20km/h以下かつ連続1km以上	5か所	休日昼間12時間で20km/h以上
⑤: 大規模商業施設の半径500m以内で休日昼間12時間平均旅行速度20km/h以下かつ連続1km以上	2か所	休日昼間12時間で20km/h以上
⑥: パブリックコメント指摘箇所	29か所	平日または休日ピーク時間で20km/h以上 <small>(※指明日に準じ、平時両方向擁がある場合はより遅い速度で評価)</small>

(※2)
 1. 交差方向の車線数
 (例: 4車線道路と2車線道路が交差)
 2. 道路の規格
 (例: 直轄国道と市道が交差)
 3. 青時間の配分
 等により、より主要と判断される道路を主道路と設定

(※3)
 ETC2.0プローブデータを使用して推定。なお他の流入部と比較して極端に交通量の少ない場合や、主要渋滞箇所台帳にて速度モニタリングを行っていない等により許容される流入部は除く。

2. 特定解除候補箇所のスケジュール

○渋滞長・滞留長調査やETC2.0データによる通過時間の分析を行う。分析結果を元に道路利用者、道路管理者へのヒアリングを行い、渋滞していないことを確認できれば、第2回協議会において主要渋滞箇所からの特定解除を検討する。

今回解除候補箇所(逢坂一丁目、八幡東)

評価内容	評価方法	実施時期
渋滞長・滞留長の長さ	渋滞長調査を実施し確認	2024年10月～11月
交差点での信号待ち回数が1回を超えていないか。	渋滞長調査時に信号待ち回数を確認	
	渋滞長調査では調査を実施した特定日しか評価できないため、通常期(9月～11月)のETC2.0プローブデータを用いて、交差点の通過時間から信号待ち回数を推定し評価する	2025年1月～2月

特定解除フローにおける信号待ち回数の基準をクリア

評価内容	評価方法	実施時期
道路利用者・道路管理者の意見として、主要渋滞箇所からの特定解除は妥当か。	上記各種調査結果を踏まえて、協議会委員へのヒアリングにて確認	2025年3月

特定解除候補箇所として異議無し

特定解除フローにおける信号待ち回数の基準を未クリア

特定解除候補箇所として異議あり

第2回渋滞協において、主要渋滞箇所からの特定解除について協議

特定解除保留

3. 特定解除候補箇所の一覧

○平均旅行速度・交差点通過時間・現地確認を踏まえ、解除が見込まれる交差点を着色。

路線		地域	交差点名	事業状況		モニタリング条件	現地調査に基づく 最大渋滞長/最大信号待ち回数※1		ETC2.0に基づく 信号待ち回数推定 割合※2	
主	従			主	従		主	従	主	従
R8	間田長浜線	長浜市	八幡東町	対策 検討中	対策 検討中	平日昼間12時間	流入1:0m(0回) 流入2:120m(1回)	流入3:20m(1回) 流入4:60m(1回)	全流入で 1回待ち以下が 90%以上	
R1	県道高島大津線	大津市	逢坂 一丁目	対策 検討中	対策 検討中	平日昼間12時間	流入1:1,150m(3回) 流入2:620m(3回)	流入3:300m(2回)	全流入で 1回待ち以下が 90%以上	

信号待ち回数が2回以上

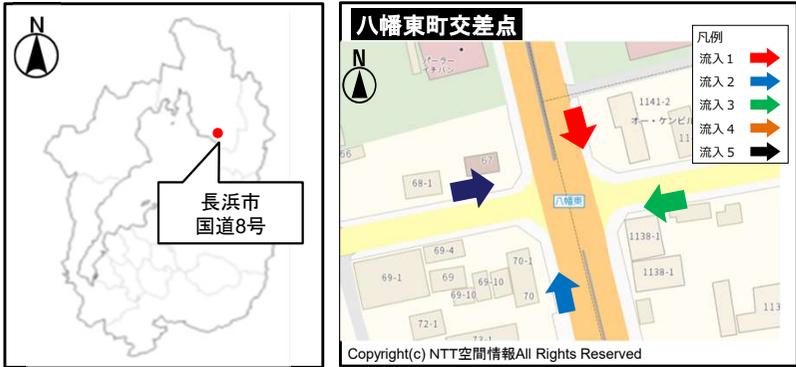
※1: R5秋実施の交通量調査結果に基づく。

※2: ETC2.0プローブデータ(R5.9~11)により車両の交差点通過時間を集計

4. 特定解除候補箇所【長浜市 八幡東町交差点】

- 現地調査においても信号待ち1回以下となっており、ETC2.0プローブ算出結果からも信号待ち1回で通過できる確率も高いことから、主要渋滞箇所からの特定解除を検討。
- 主道路の国道8号敦賀方面延長にある北新町交差点ではH26に交差点改良が実施済みである。また速度が低下している従道路流入4方向の交通量は選定時以降減少を続けていることから、道路整備と需要低下により、渋滞が緩和したと考えられる。

＜＜位置図・流入番号＞＞



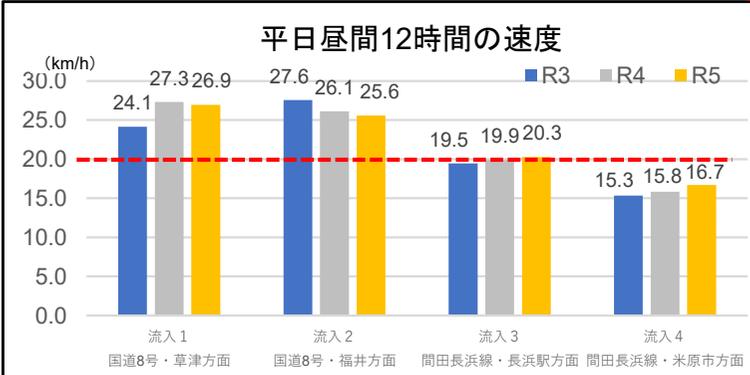
＜＜説明図＞＞



＜＜広域図＞＞



＜＜速度状況・信号待ち回数＞＞



信号待ち回数が1回以下 各流入で90%以上

	現地調査結果	ETC2.0プローブ算出結果		
		0回	1回	2回以上
流入1	0回	51.9%	47.2%	0.9%
流入2	1回	47.7%	51.1%	1.2%
流入3	1回	56.2%	41.5%	2.3%
流入4	1回	30.1%	65.3%	4.7%

＜＜主要渋滞箇所の選定理由＞＞

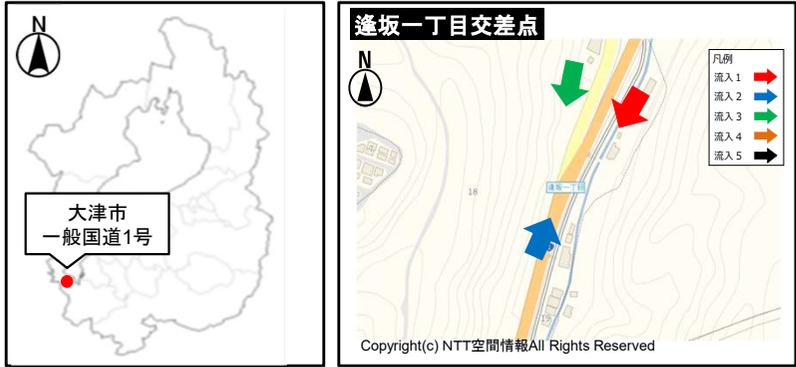
選定理由
各府県別交差点渋滞損失時間ワースト50位以内、かつ一方方向で平日昼間12時間の平均旅行速度20km/h以下

※現地調査結果: R6.11.7(木)の調査結果
※ETC2.0プローブ算出結果: R5.9-11の平日昼間12時間

4. 特定解除候補箇所【大津市 逢坂一丁目交差点】

○現地調査において、各流入部で信号2～3回待ちのケースが見られているため、本年度特定解除とはせず、引き続きモニタリングを行いながら対策を検討していく方針としたい。

≪位置図・流入番号≫



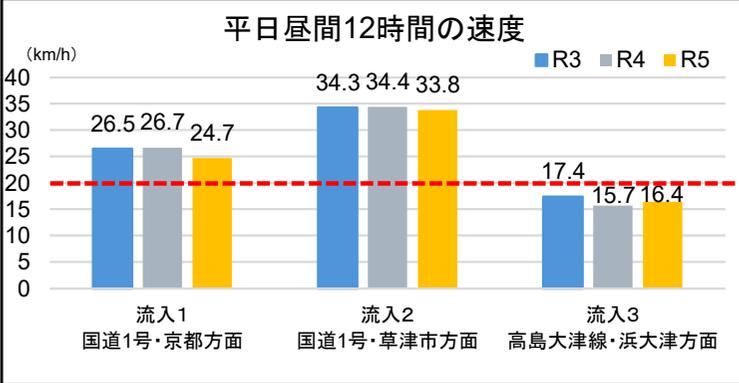
≪説明図≫



≪広域図≫



≪速度状況・信号待ち回数≫



信号待ち回数が2回以上

	現地調査結果	ETC2.0プローブ算出結果		
		0回	1回	2回以上
流入1	3回	55.6%	44.3%	0.1%
流入2	3回	90.3%	9.7%	0.0%
流入3	2回	11.5%	78.6%	9.9%

≪主要渋滞箇所の選定理由≫

選定理由
各府県別交差点渋滞損失時間ワースト50位以内、かつ一方向で平日昼間12時間の平均旅行速度20km/h以下

※現地調査結果: R6.11.7(木)の調査結果
※ETC2.0プローブ算出結果: R5.9-11の平日昼間12時間